

教 育 要 覧

令和4年度

飯田市教育委員会

※本教育要覧は令和4年度7月に作成されました。令和4年度実施予定として記載されている事業には、新型コロナウイルス感染症流行により中止となったものも含まれます。

(白紙)

目 次

飯田市の概要

1	あらまし	5
2	飯田市の位置・面積・人口	6
3	面積と人口の推移	6

教育行政と財政

1	飯田市の教育の計画	8
	第2次飯田市教育振興基本計画の中期の取組（抜粋）	9
	飯田市スポーツ振興計画第2次改定（概要）	22
	「伊那谷の自然と文化」をテーマとした取組みの方針	27
	飯田市文化芸術振興基本方針	33
	人形劇のまちづくりを推進する新たな仕組みに関する方針	36
	第4次飯田市立図書館サービス計画（概要）	44
	飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン（概要）	46
	飯田市歴史研究所第5期中期計画	47
2	教育委員会	49
3	市理事者	49
4	関係市議会議員	49
5	教育委員会機構	50
6	教育委員会事務局等の事務分掌	51
7	令和4年度教育費当初予算	54
8	飯田市教育委員会施設等総合管理計画 概要版	55

学校教育

1	市立小中学校一覧	64
2	小中学校及び調理場職員数	65
3	児童・生徒数一覧表	66
4	市立小中学校児童生徒数の推移	67
5	中学校卒業生の動向	68
6	小中学校施設等の状況	69
7	通学区域	70
8	飯田市小中連携・一貫教育の推進	71
9	特別支援教育	72
10	グローバル化に対応する教育	73
11	情報活用能力の育成に資する教育	73
12	環境教育	74
13	キャリア教育	74
14	教育相談事業の充実及び不登校児童生徒対策	75
15	学校給食	76
16	就学援助制度	77
17	奨学金制度	78
18	放課後子ども教室	79
19	児童館・児童センター・児童クラブ	80

社会教育

生涯学習・スポーツ

1	社会教育に関すること	82
2	運動・スポーツに関すること	82
3	教育委員会の施設に関すること	82
4	資料	82
	(1) 社会教育委員	82
	(2) 社会教育関係委員等	83
	(3) 社会教育施設	83
	(4) 令和4年度 主なスポーツ行事計画	84
	(5) 社会体育施設及び使用料	84
	(6) 各施設利用状況	91

(7) 飯田やまびこマーチの開催期日とコース変遷	92
(8) 風越登山マラソン大会開催期日とコースの変遷	96
(9) 信州飯田 60 歳以上ソフトボール大会の実施結果	100
文化財保護活用	
1 事業概要	102
2 資料	
(1) 所管する審議会	103
(2) 所管施設	103
(3) 文化財の指定状況	103
(4) 文化財関係施設	115
公民館	
1 令和 4 年度飯田市の公民館活動基本方針	122
2 飯田市の公民館の構造	124
3 公民館の運営組織	126
4 飯田市の分館	127
5 飯田市の公民館施設の現状	128
文化会館	
1 基本方針	130
2 令和 4 年度の重点課題	130
3 文化会館の概要	130
4 利用状況	132
5 オークストラと友に～アフィニスのふるさと飯田音楽祭～事業の概要	133
6 令和 4 年度飯田文化会館事業計画	134
7 人形劇のまちづくりの沿革	136
8 数字で見る人形劇カーニバルと人形劇フェスタ	137
9 竹田扇之助記念国際糸操り人形館	140
10 飯田市川本喜八郎人形美術館	140
11 飯田市今田人形の館	141
12 飯田市黒田人形浄瑠璃伝承館	141
13 人形劇を通じた国際的な文化交流	141
図書館	
1 沿革	142
2 施設	144
3 令和 4 年度図書館の運営	145
4 図書館資料	147
5 令和 3 年度 図書館利用状況	153
6 令和 3 年度主な行事等	157
美術博物館	
1 沿革	161
2 展覧会	162
3 施設の概要	167
4 運営方針	168
5 運営組織	169
6 入館者数	169
7 教育普及活動	170
8 刊行物一覧（新刊）	170
9 令和 3 年度事業報告	171
歴史研究所	
1 基本的な方向性と重点目標	185
2 基本的事業活動	186
3 沿革	186
4 施設の概要	187
5 運営組織	187
6 令和 3 年度－令和 4 年度の具体的な事業内容	187
研究集会及び教育・普及事業（各種講座等）への参加者数	202

飯田市の概要

1 あらまし

「飯田」の地名は「結いの田」が語源となっているとも言われ、伝統産業である「水引」に代表される「結び」に縁のある土地柄であり、行政、企業、市民で「結いの力」を発揮し、リニア時代を見据えた 21 世紀型の戦略的地域づくりを進め、それらによって人材サイクルの大きなウェーブを創り出し、豊かなライフスタイルを実現できる持続可能な地域経営を目指している。

「りんご並木」と「人形劇のまち」として知られ、天龍峡、元善光寺、しらびそ高原などの観光名所のほか、体験教育旅行、銘桜を巡る桜守の旅、グリーンツーリズム・エコツーリズムの取り組みなども全国から注目されている。

昭和 22 年の大火により市街地の大半を焼失したが、復興に向け防火帯道路の中心にりんごの木が植えられ、飯田東中学校の生徒を中心に今日まで育てられてきた「りんご並木」は、飯田のまちづくりの原点であり、復興のシンボルとなっている。

平成 21 年には「環境モデル都市」に選定され、太陽光、小水力、木質バイオマスなどによる地産地消のグリーン電力を利用した先進的な取り組みを地域全体で有効活用していくよう市内や全国に向けて発信しており、平成 25 年には、地元の自然資源を使って発電し、その売電収益を住みやすい地域づくりのために充てていく活動を支援するための条例を全国の市町村に先駆けて施行した。

平成 21 年には飯田下伊那を圏域とする定住自立圏の中心市宣言を行い、全国に先駆けて周辺町村と「定住自立圏形成協定」を締結し、地域医療の充実や産業の振興、公共交通システムの整備など互いに連携・協力を図っている。教育分野では、平成 23 年から飯田市（中央・鼎・上郷）と松川町、高森町の 1 市 2 町で結んでいた図書館ネットワークに、豊丘村、喬木村を加え、それぞれの図書館が持つ本の情報を共同利用するシステムを拡大した。

令和 3 年は、仲ノ町出身の日本画家・菱田春草が満 36 歳で没してから 110 年目であった。春草は思想家・岡倉天心の指導のもとで「朦朧体」などの新画風を研究し、多くの名作や問題作を描いて日本画の近代化をリードした作家である。美術博物館ではこの記念の年に、《黒き猫》（重要文化財）など代表作 48 点と、制作にまつわる資料 82 点を陳列する特別展「菱田春草－故郷につどう珠玉の名画－」を開催した。本展にはコロナ禍にも関わらず 30 都道府県より 11,490 人の観覧があり、市内小中学校では 22 校 1,984 人が授業で観覧を行った。これは各小中学校や教育委員会各課との連携の結果であり、今後はこの連携をもとに春草の鑑賞学習の継続を検討する。

さて、令和 4 年度は、「コロナ禍を乗り越え『日常』を取り戻す」ことに取り組む年として、飯田お練りまつりの開催を契機に、各地区の御柱祭や元善光寺の御開帳、飯田やまびこマーチ、オーケストラと友に音楽祭など各種の行事、イベントが開催された。

いいだ人形劇フェスタ 2022 も、3 年ぶりの通常開催に向けて準備を進めている。人形劇のまちづくりとしては、人形劇の友好都市であるシャルルヴィル・メジエール市（フランス）から海外との渉外能力の高い職員を配置し、人形劇の友・友好都市国際協会（AVIAMA）との国際的なネットワークの強化や、市民への人形劇を通じた国際交流の機会充実に取り組むほか、情報発信機能を高め「人形劇のまち飯田」を広く世界に紹介していく。

5 月には、JR 飯田駅前にあった大型商業施設の後利用として「丘の上結いスクエア」がオープンした。公共施設としては公民館、図書館、平和祈念館、教育支援センターなどの機能が「ムトスぷらざ」として設置され、「ヒト」「モノ」「コト」が集まる創発の場としての活用が期待される。

2 飯田市の位置・面積・人口

(1) 飯田市役所の位置 (世界測地系)

東 経 137° 49' 19''

北 緯 35° 30' 53''

海 抜 499.02m

(2) 面 積 658.66 km²

(3) 世帯数及び人口

世帯数 40,140 世帯

総人口 97,729 人

(男 47,164 人 女 50,565 人)

(令和 4 年 5 月 1 日現在 住民基本台帳数)

※住民基本台帳法の改正により外国人を含む



3 面積と人口の推移

年月日	面積 (k m ²)	世帯数 (戸)	人 口 (人)			備 考
			総数	男	女	
昭和 12. 4. 1	95.89	6,305	31,298	14,972	16,326	飯田町と上飯田町が合併、市となる
22. 10. 1	95.89	6,842	30,283	14,492	15,791	
31. 10. 1	199.79	14,627	69,235	33,157	36,078	31. 9. 30 座光寺・松尾・竜丘・三穂・山本・伊賀良・下久堅村と合併
36. 10. 1	206.07	16,110	69,580	32,839	36,741	36. 3. 31 川路村と合併
39. 4. 1	293.03	19,072	78,771	37,015	41,756	39. 3. 31 千代・上久堅・龍江村と合併
50. 10. 1	293.03	20,602	77,112	36,197	40,915	
59. 7. 1	293.03	22,534	78,844	37,320	41,524	(住民基本台帳による人口)
59. 12. 1	299.23	26,682	92,412	43,810	48,602	59. 12. 1 鼎町と合併
平成 5. 7. 1	325.35	32,934	106,797	50,629	56,168	5. 7. 1 上郷町と合併
17. 10. 1	658.76	37,289	108,247	51,867	56,380	17. 10. 1 上村・南信濃村と合併
21. 5. 1	658.76	37,807	105,923	50,703	55,220	
23. 5. 1	658.73	38,035	104,877	50,195	54,682	
25. 5. 1	658.73	39,236	105,921	50,542	55,379	住民基本台帳法の改正で外国人を含む
27. 5. 1	658.66	39,508	104,386	49,936	54,450	面積の測定方法変更
29. 5. 1	658.66	39,335	103,042	49,335	53,687	
令和 1. 5. 1	658.66	40,013	101,187	48,613	52,574	
2. 5. 1	658.66	40,090	100,055	48,163	51,892	
3. 5. 1	658.66	40,127	98,917	47,715	51,202	
4. 5. 1	658.66	40,140	97,729	47,164	50,565	